

令和4年7月13日

本高図書委員会だより

3年担当

第02号



横浜流星主演映画 『線は、僕を描く』

香君 上下

3年Kさんおすすめ

「獣の奏者」「守り人」シリーズ作者の著書です。

遙か昔、神からもたらされたという奇跡の稲、オアレ稲。ウマル人はこの稲を用いて帝国を作り上げた。この奇跡の稲をもたらし、香りで万象を知るといふ活神〈香君〉の庇護のもと、帝国は発展を続けてきたが、あるときオアレ稲に中外が発生してしまう。時を同じくして、一人の少女が帝都にやってきた。人並み外れた嗅覚を持つアイシャは、やがて、オアレ稲に秘められた謎と向き合っていくことになる。



両親を交通事故で失い、喪失感の中にあつた大学生の青山霧介は、アルバイト先の展覧会場で水墨画の巨匠・篠田湖山と出会う。なぜか湖山に気に入られ、その場で内弟子にされてしまう霧介。反発した湖山の孫・千瑛は、翌年の「湖山賞」をかけての勝負を宣言する。水墨画とは筆先から生み出される「線」の芸術。描くのは「命」。はじめての水墨画に戸惑いながらも魅了されていく霧介は、線を描くことで回復していく。そして一年後、千瑛との勝負の行方は…………。

水墨画の世界観を知れるのがこの本の魅力です。主人公や他の登場人物が一步踏み出していく姿に勇気がもらえます。水墨画のような繊細で綺麗な物語だと思えます。

六人の嘘つきな大学生

3年Sさんおすすめ

『ランチBOOK大賞2021』大賞を受賞作品

急成長のIT会社の最終面接に集まった六人の大学生たちが繰り広げる究極の心理戦と彼らの本性がこの物語の最大の魅力。そして明らかになる黒幕とそのため伏線回収が激やばです。

人間のダークサイドから始まり、最後は伏線回収ができてスッキリします。何を書いてもネタバレになるので何も知らないまま読むのがオススメです。ほんとにおもしろいのでぜひ手に取ってください。



Sのつぶやき

恋ってなんだと思う？

Kのつぶやき

出川イングリッシュ通じるなら英語はいらない



夏に読みたい ゾクッと小説



夏と花火と私の死体

著書 乙一

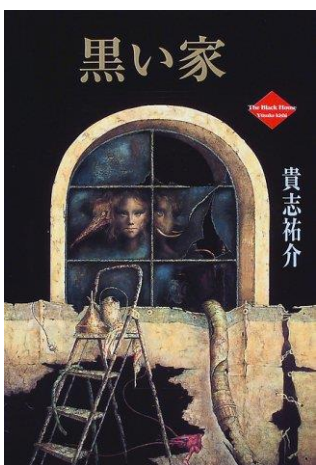
九歳の夏休み、少女は殺された。あまりに無邪気な殺人者によって、あっけなく。こうして、ひとつの死体をめぐる、幼い兄妹の悪夢のような四日間の冒険が始まった。次々に訪れる危機。彼らは大人たちに追及から逃れることができるのか？死体をどこへ隠せばいいのか？ホラー界を驚愕させた乙一のデビュー作です。ページをめくると訪れる違和感にゾクゾクと恐怖を掻き立てられる作品です。



黒い家

著書 貴志祐介

保険会社に勤務する主人公が、保険金殺人に巻き込まれていくストーリーです。人間の中にある狂気がじわじわ迫ってくる様子がしっかり描かれており、やっぱり一番怖いのは幽霊や怪奇現象ではなく人間だなと感じさせます。ホラーだけでなくミステリー要素もあるので読み応えのある一冊です。



向日葵の咲かない夏

著書 道尾秀介

ホラー？ミステリー？怖いけど先が気になる作品です。衝撃展開はもちろんのこと作中のトリックがすごかったです。ラストまで目がはなせません。過激な表現あり！読むのは自己責任です。また、夜に読むのはおすすめしません♡



残穢

著書 小野不由美

2015年に映画化された原作。戦慄のホラー小説。「畳をこするような音がする」から始まる恐怖の連鎖がとにかく怖い！！引越しが恐ろしくなります。この時期の読むと、じわじわした怖さが余計に染みてくる気がします・・・。



Another

著者 綾辻行人

まさにホラーミステリー！とにかく方々に散りばめられてるフラグの回収が痛快。600ページを超える長編なのにその長さを感じさせないほどのめり込める。誰が「もう一人」なのか予想しながら読むのが面白いです。過激な描写が多いので苦手な人は読まないで

